



人権教育「自分がされて嫌なことは、人にはしない」!!

12月に入り、今年も早いものであと3週間余りとなりました。2学期は行事がたくさんありました。最近の行事では、1年生はサラ玉の植え付け、世界女子ハンドボール選手権観戦。2年生は京都・奈良への修学旅行。全員参加し、病気やケガ、事故など1件もありませんでした。3年生は市音楽会での学年合唱。大きな声で会場中を響き渡らせてくれました。



【2年修学旅行 座禅体験】

さて、今週4日水曜日、本校で市小中人権教育研究会が実施され、1年生と3年生の2クラスで人権学習の公開授業がありました。自ら挙手して自分の考えを発表したり、班の中で意見を出し合ったりしてくれ、「二中生はとて落ち着いており、素晴らしい授業の姿でした」とお褒めの言葉を頂きました。

人権教育では「自分がされて嫌なことは、人にはしない」とよく言います。2学期を振り返ってみると、友達が嫌がる言動や自己中心的な言動を取る生徒を、ときどき見かけました。一歩間違えば大きなケガや事故、問題行動につながる事例もありました。

また、いじめの定義は「いじめの対象となった生徒等が心身の苦痛を感じている」ですが、これまで、10数件をいじめと認知して対応してきました。毎年、全国のどこかの小中学校で、児童生徒がいじめを苦に自殺する事案が起きています。

学校は勉強だけでなく、人間関係や思いやりの心、規範意識、人権感覚など様々なことを学ぶ場です。以前も書きましたが、「冗談だった」「面白半分だった」などは許されません。嫌なことを言われたり、されたりした人は、悩み、苦しみ、とても傷ついているのです。自分が楽しいだけでなく、「友達も楽しいか」という視点をもって学校生活を送ってほしいです。すべての生徒が、笑顔で、楽しく、安心して過ごせる学級、学校にしていきます。

進路「どのような人生を送りたいか」

3年生は、いよいよ進路決定の時期を迎えました。これまでは、住んでいた場所で入学する小学校や中学校が決まっていた。今回、初めて自分で進学先を決めなければなりません。高校へ進学する人がほとんどだと思いますが、高校3年間はあっという間に終わります。



【市音楽会 3年学年合唱】

大切なことは、高校卒業後に「自分は何をしたのか」「どのような人生を送りたいのか」をしっかり考え、進路決定をしてほしいです。普通科を選ぶか、機械科を選ぶかでその後の人生は大きく変わります。人生は何度でもやり直しはできませんが、大切な時間はどんどん過ぎ去っていきます。

また、私は自分の特技や趣味と、将来の仕事は別に考えた方がいいのではないかと考えています。例えば、「野球が好きだからプロ野球選手になる」というのは現実的ではありません。プロ野球とは違う別の仕事も考え、高校でも勉強に力を入れながら、特技としての野球を続け、プロ野球選手への道を諦めず目指してもいいと思います。

働いている人のほとんどは、最初から自分に向いていた仕事に就いたのではなく、一生懸命に働いているうちに、仕事の面白さや楽しさなどの「働く喜び」を見つけています。最初から面白い仕事や自分に合う仕事があった訳ではありません。

水俣高校定時制の文化祭開始を待っていたところ、二中校区の区長さんが私に声をかけてくれました。「先生が牛深の久玉中にいた時に、水俣二中で野球の練習試合をされたでしょ。私はその時、主審をしていたんですよ。そして、先生のお母さんも応援に来ておられましたね。お母さんとは知り合いました。」という約30年前の話でした。そして、その区長さんのお孫さんが、今、二中の生徒ということで、不思議な縁を感じました。私は中学生の頃、野球に関わる仕事がしたくて教師の道を選びました。高校生活は2度と送りたいくらい、部活動との両立はとても厳しいものでした。野球で教師を選んだ訳ですが、数学の授業や学級担任など、とても楽しい仕事になりました。最初の1~2年間は生徒が言うことを聞かなかったり、私の指導が厳し過ぎて反発されたりして大変でした。今となってはいい思い出です。